

## 令和7年度 神奈川県小学生陸上競技秋季交流大会 競技者注意事項

- 1 規 則 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則を準用して実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技・運営をする。
- 2 練 習 練習は練習場または指定された場所を利用すること。
- 3 プロ訂正 プログラムのアスリートビブス(ナンバーカード)や氏名等に記載誤りがあった場合は、午前8時30分までに受付に申し出ること。
- 4 招 集 (1)招集所は100mスタート地点後方に設ける(朝の受付とは別)  
(2)出場者は自分の出場する種目ごとに、プログラム記載の招集時間内に招集所で自分の名前にチェックし、レーン表示ナンバーカード(腰ナンバーカード)を受け取り、右腰後方に取り付ける。コンバインドは、種目毎に、その都度招集を行う。  
(3)招集時間は、トラック種目:競技開始35分前~20分前まで、フィールド種目:45分前~30分前まで、プログラムに記載してあるので時間に遅れないようにすること。その後は、競技者係審判員の指示に従うこと。
- 5 退 場 競技役員の指示に従って退場すること。
- 6 アスリートビブス (1)アスリートビブスは受付時に配布する。また、競技終了後、帰りにアスリートビブスは、ナンバー順に揃えて代表者が必ず受付に返却する。  
(2)安全ピン(1名につき12本必要)は個人またはチームで用意すること。  
(3)アスリートビブスは胸と背に配布時の状態で、1枚ずつ確実につけること。  
(4)トラック種目出場者は腰ナンバーカードを腰部分の体側右後方につけること。  
\* 腰ナンバーカード(レーン番号)は招集所にて配布。各レース後普及部員が回収する。
- 7 リレー競技 リレー競技に出場するチームは「リレーオーダー用紙」1部を、招集完了60分前までに招集所(100mスタート側スタンド下)に、提出すること。チーム責任者は忘れずに。なお、リレーオーダー用紙はプログラムに付いている(提出も同じ場所)。リレーのオーダーは、申し込んだリレーチームのメンバーの中からのみの編成とする。決勝のオーダー用紙も、招集完了時刻60分前までに提出する。
- 8 競技方法 (1)計 時  
トラック種目は写真判定で行う  
(2)リレー  
リレーの次走者のバトンの受け渡しは、30mのリレーゾーン内で行う。次走者はゾーン内でスタートしなければならない。  
(3)スタート  
① トラック種目は、クラウチングスタートとする。スターティングブロックは使しなくても良い。但し、3・4年生については、スタンディングスタートも認める。  
② スタートの合図はイングリッシュコールで行う。同じ競技者が2回不正スタートをした場合、その競技者は失格とし、オープン参加として走る。  
(4)3年生男女80m、4年生男女100m、5年生男女800m、6年生男女800mはタイムレースで行い。決勝ラウンドは行わない。  
(5)スパイクの使用を認める。(ピンの長さはトラック7mm以下、フィールド9mm以下)。スパイクは使用しなくともよい。競技用シューズの規則(靴底規則)は適用しない。なお、素足での出場は認めない。雨天時はスパイクの使用が望ましい。  
(6)走幅跳・ジャベリックボール投  
①3回試技後、トップ8でさらに3回の試技を行う。コンバインドは3回試技のみ。  
②ジャベリックボール投は、競技場で準備されたものを使用するので持ち込み不可。やり投げ用ピットを使用し、助走は15m以内とする。  
競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボールの先端につけてボール本体を持ちオーバーハンドスローで投げること。

(7) 走高跳

- ①跳躍方法は「はさみ跳び」で行う。着地は必ず足裏から着地すること。足裏から着地できない場合は無効試技とする。
- ②試技は3回連続で失敗したら競技終了とする。
- ③バーの上げ方は、次のとおりとする。(男女同じ)
  - ・練習は1 m 0 0で行う。試技は1 m 0 0から行い、以降5 c m刻みで上げていく。
  - ・1 m 3 5まで5 c m刻みで上げ、それ以後は3 c m刻みで上げる。

(8) 8 0 mH 小学生用ハードルを使用し、次の規定で行う。

スタートから第1ハードル	ハードルの高さ	ハードル間の距離	台数	最終ハードルからフィニッシュ
1 3 m	7 0 cm	<b>7 m 0 0 cm</b>	9 台	1 1 m 0 0 cm
0m ~13m ~20m	~27m ~34m	~41m ~48m	~55m ~62m	~69m ~80m